

アートを聴いて観て感じて

11期 ミュージアムに行こう2

第1回 ベルググリューン美術館展

鑑賞会：4月20日(木) 国立国際美術館

★【特別講義】「美術鑑賞の基本」4月13日(木)

講師 愛知教育大学 名誉教授 浅野和生 先生

〈美術を鑑賞する上で大切なこと〉

① 作品の主題や、作者の制作意図を理解する

② 作品を観察し造形的な美しさを味わう

③ 本や美術館の作品の説明などと、観察で得た印象が合致しているかどうか考える

美術作品は「直感で見る」「感性で感じる」という鑑賞の仕方もあるが、事前に知識をもって鑑賞することも大切で、作品の背景や作者の意図を知った上で鑑賞することで、より深く味わうことができる、ということをお教えいただきました。

〈例として、以下の絵の【物語】の解説をしていただきました〉

「最後の晩餐」 : レオナルド・ダ・ヴィンチ

「アモルとプシュケ」 : フランソワ・ジュラール

「三十六歌仙 在原業平の和歌

世の中にたえて桜のなかりせば 春のころはのどけからまし」

: 鈴木春信

★【オリエンテーション】

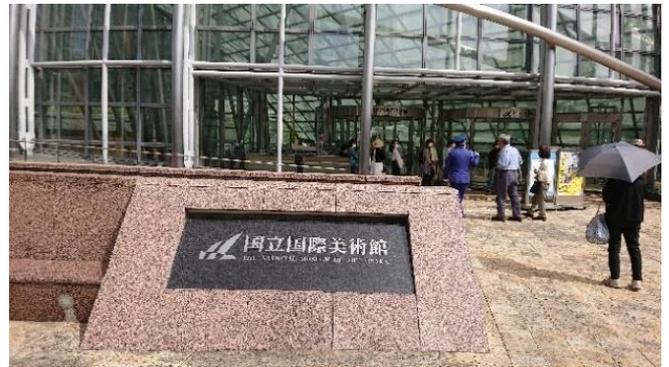
初回でしたので、午後は班別に分かれて自己紹介、連絡網作成、役割分担などを行いました。 わきあいあいと和やかな雰囲気、今後の活動が楽しみです。



★【鑑賞会】 国立国際美術館 4月20日(木)

ベルリン国立ベルググリュン美術館展「ピカソとその時代」

同美術館はピカソ、クレー、マティス、ジャコメッティという4人の作品を中心に収蔵しており、今回は日本の国立美術館所蔵の11点を加えた108点が展示されました。その内76点が日本初公開の作品です。



国立国際美術館は、昨年オープンした大阪中之島美術館、大阪市立科学館と隣り合わせになっています



特定の4作品を除いて写真撮影が許可されていたので、いくつかを掲載します

ピカソ
クレー
マティス
ジャコメッティ

2023
APR.20

picasso
ピカソとその時代
2023.2.4sat...5.21sun

picasso
ピカソとその時代
2023.2.4sat...5.21sun

ONCC ミュージアムへ行こう
国立国際美術館

受講生の声

- ピカソは好奇心が強く「いろいろな技法や構図で描いて、型にはまっていないので、鑑賞していて「なに？これ」と思えば、また「微笑ましく」感じました。
- マティスの絵は「赤色」が多いと思っていましたが、今回の展示は綺麗な色使いで目をひきました。

午後は正規の授業ではなく、自由参加のミュージアム見学です。
CAさんから国立文楽劇場で開催されている「上方浮世絵展」が紹介されていました。
この展示会は国立劇場が所属している浮世絵(役者絵など演劇関連)が展示され、「文楽入門」のコーナーも併設されています。ここにはクラスから十数名の方が見学参加しました。
また大阪中之島美術館など他の美術館を見学された方もいました。



特定の写真以外は展示品の撮影が許可されていました

親睦をはかるため昼食会をおこなったグループもありました



以上